

1995年工学教育連合講演会開催案内

工学教育の問題は、全体的な政策に関わる問題から、個別分野の教育に至るまで、様々な角度から取り上げられ討議されている。

本連合講演会は、工学教育に関心が深い主要学協会が共催し、教育改革に関する情報を紹介して、それぞれの分野における経験、課題を持ち寄り、パネル討議し、その成果を工学の全分野に浸透させることによって、工学教育の一層の改善を図ろうとするものである。

1. 共催：(社)日本工学教育協会、(社)日本鉄鋼協会ほか18学協会
2. 日時：平成7年5月17日(水) 9:30~16:30(受付開始 9:00)
3. 場所：工学院大学 新宿校舎(東京都新宿区西新宿1-24-2 TEL(03)3342-1211)
4. プログラム：テーマ「21世紀を主導できる技術者像とその育成のための教育改革」
9:30~9:35 開会挨拶……………「工学教育」連合講演会実行委員会委員長 山田 郁夫
9:35~9:45 文部省挨拶……………文部省高等教育局専門教育課(未定)
9:45~11:45 セッション1 欧米における教育改革の動向 司会：柴田 順二
講演1「米国における工学教育改革の動向」……………大阪大学工学部教授 大中 逸雄
◆米国の工学教育関係者が描く21世紀を主導できる技術者像を紹介し、大学の工学教育のカリキュラムの改革、制度の改革などの動向を述べる。
講演2「世界の大学教育改革の歴史と国際比較—工学教育改革への問題提起—」
……………広島大学大学教育研究センター教授 関 正夫
◆20世紀初頭から現在に至る仏、独、米の大学教育の変革の歴史的潮流を概観し、工学教育改革の在り方を述べる。
11:45~13:00 昼食と Campus Tour (Tour 出発 12:15)
13:00~14:00 基調講演 司会：山田 郁夫
「ボーダレス時代の工学教育」……………工学院大学学長 大橋 秀雄
◆技術革新と産業構造の変化に対応して、大学での工学教育の在り方を日米比較も含めて述べる。
14:10~15:10 セッション2 高校と企業から大学への要望 司会：伊藤 卓
講演3「高校教育の現状と変革—大学への要望—」……………攻玉社高等学校校長 岡本 武男
◆政治、経済、社会の変化にともなう高校教育の変革の動向を紹介し、大学の特に工学教育への要望を述べる。
講演4「企業内教育の変革と大学への要望」…(株)コマツ・キャリア・クリエイト 取締役企画部長 石月 言成
◆バブル崩壊後の企業内教育の変革の動向を紹介し、大学の特に工学教育への要望を述べる。
15:20~16:30 セッション3 パネル討議 司会：山田 郁夫
◆上記全講師をパネリストとして主要学会のそれぞれの分野における経験、課題を持ち寄り、パネリスト、一般参加者も参加しての討議を行う。
5. 参加要領：
 - ・定員 300名(先着順、定員になり次第締め切ります)
 - ・参加費 共催学協会会員：5,000円、その他：7,000円(資料代・消費税を含む)
 - ・申込方法 申込書は次項問合せ先へご請求下さい。
参加費は銀行振込または当日会場でお支払下さい。
(銀行振込は5月10日(水)迄にお願いします)
取引先銀行：住友銀行 上野支店(普通)844300 口座名(社)日本工学教育協会
6. 申込・問合せ先：
社団法人 日本工学教育協会 〒108 東京都港区三田3-5-21(三田アルスビル) 担当：青山
TEL(03)5442-1021 FAX(03)5442-0241

平成7年度技術士第1次試験(技術士補試験)のお知らせ

—技術士法に基づく技術士補になるための国家試験—

1. 受験申込み受付期間
平成7年5月10日(水)~5月19日(金)(土、日曜を除く)
10:00~12:00, 13:00~17:00
 2. 試験の日時：平成7年10月8日(日)
10:00~12:00 共通科目, 13:00~16:00 専門科目
 3. 試験科目
共通科目：数学、物理学、化学、生物学、地学から2科目選択
専門科目：機械、船舶、航空・宇宙、電気・電子、化学、繊維、金属、資源工学、建設、水道、衛生工学、農業、林業、水産、経営工学、情報工学、応用理学、生物工学、環境から1部門選択
 4. 試験地
札幌市、仙台市、東京都、新潟市、名古屋市、大阪府、広島市、福岡市、那覇市
 5. 受験資格
年齢・学歴・業務経歴等による制限は一切ありません。
 6. 受験申込み受付場所・問合せ先
科学技術庁長官指定試験機関
社団法人日本技術士会技術士試験センター
〒105 東京都港区虎ノ門4丁目1番20号田中山ビル8階
TEL(03)3459-1333(代)
- *受験申込み書は、4月上旬から配布します。